

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品コード) : ビスタック (記号: VT-A・品番: A131)  
 会社名称 : 株式会社 和光ケミカル  
 住所 : 神奈川県小田原市南鴨宮 1-1-1  
 電話番号 : 0465-48-2211(代)  
 FAX 番号 : 0465-49-1951  
 緊急連絡電話番号 : 技術部(電話: 0465-48-8114)  
 推奨用途及び使用上の制限 : ●水のかかる所、自動車の下回り、ドアやボンネット等のヒンジの潤滑、板バネのきしみ音解消。●カートやオフロードバイクのチェーン、各種ワイヤー、各種リンクの潤滑。●フォークリフトのチェーン、ツメのスライド部。●工場、遊園地、スキー場、船舶等のケーブル、ワイヤー、オープンギヤー等。【業務用】  
 作成日 : 1999年9月28日 (2022年4月1日 改訂第16版)  
 整理番号 : A131-J16

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類 エアゾール 区分1  
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用)  
 水生環境有害性 短期(急性) 区分3  
 水生環境有害性 長期(慢性) 区分3  
 ※記載のないものは区分に該当しないまたは分類できない

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報

- H222: 極めて可燃性の高いエアゾール
- H229: 高压容器: 熱すると破裂のおそれ
- H336: 眠気又はめまいのおそれ
- H402: 水生生物に有害
- H412: 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

- P210: 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- P211: 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
- P251: 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
- P261: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入を避けること。
- P271: 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
- P273: 環境への放出を避けること。

【応急措置】

- P304+P340: 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P312: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

【保管】

- P403+P233: 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- P405: 施錠して保管すること。
- P410+P412: 日光を遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。

【廃棄】

- P501: 内容物/容器を国際条約や国/都道府県/市町村の規則に従い廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

- 潤滑油基油 企業秘密の為記載できない
- 潤滑油添加剤 企業秘密の為記載できない
- LPG(噴射剤) 20~30wt. %

危険有害成分及び含有率 :

化合物名	CAS-No.	官報公示整理番号(化審法)	労働安全衛生法(政令No.等)	PRTR法	含有率(wt.%)
メタクリル酸メチル	80-62-6	(2)-1036	557	非該当※1	1未満

鉱油※2	企業秘密の為記載できない	登録済	168	非該当	5~15
ブタン(全異性体)	106-97-8, 75-28-5	(2)-4	482	非該当	0~30

※1: 指定物質(1種-420)だが、含有濃度はPRTR法対象濃度に満たないため非該当。

※2: IP346法によるDMSO抽出物質が3質量%未満の鉱油

4. 応急措置	眼に入った場合	: 清浄な水で最低15分間眼を洗浄した後、医師の手当てを受ける。
	皮膚に付着した場合	: 付着物を布にて素早く拭き取る。大量の水及び石けんまたは皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。 外観に変化が見られたり痛みがある場合は、医師の診察を受ける。
	吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所に移す。身体を毛布などで覆い、保温して安静に保ち、必要なら医師の手当てを受ける。
	飲み込んだ場合	: 無理に吐かせないで、医師の手当てを受ける。口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗うこと。

5. 火災時の措置	消火方法	: 火元への燃焼源を断つ。 : 初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火剤を用いる。 : 大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。注水は、火災を拡大し危険な場合がある。 : 周囲の設備などに散水して冷やす。 : 消火作業の際は、風上から行き必ず保護具を着用する。 : 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
	消火剤	: 霧状の強化液、泡、粉末または炭酸ガス消火剤が有効である。消火に棒状の水を用いてはならない。

6. 漏出時の措置	大量の場合	: 周囲の着火源を取り除く。 : 漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。作業の際には必ず保護具を着用する。漏洩したグリースは土砂などでその流れを止め、安全な場所に導いたのち、できるだけ空容器に回収する。河川、下水道等へ排出しないように注意する。
	少量の場合	: 土砂、ウエスに吸着させ空容器に回収し、その後をウエス等で完全に拭き取る。
	海上の場合	: オイルフェンスを展開して拡散を防止し、すくい取ったり、吸着マット等で吸い取る。薬剤を用いる場合は、国土交通省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。

7. 取扱い及び保管上の注意	取扱い	: 静電気対策を行い、作業着、靴等も導電性のものを使用する。 : 指定数量以上の量を取り扱う場合には、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行う。 : 炎、火花又は高温体との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させない。 : 石油製品から発生した蒸気は空気より重いので滞留しやすい。そのため換気及び火気への注意が必要である。 : 危険物が残存している機械設備などを修理または加工する場合は、安全な場所で危険物を完全に除去してから行うこと。
	保管	: 皮膚に触れたり眼に入る可能性のある場合には保護具を着用する。 : 冷暗所で換気の良い場所に保管する。 : 危険物の表示をして保管する。 : 熱、スパーク、火災並びに静電気蓄積を避ける。 : 保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。 : ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

化合物名	CAS-No.	管理濃度	ACGIH TLVs		日本産業衛生学会 許容濃度
			TWA	STEL	
鉱油	混合物の為記載できない	—	5mg/m <sup>3</sup> (鉱油ミストとして)	—	3mg/m <sup>3</sup> (鉱油ミストとして)
メタクリル酸メチル	80-62-6	—	50 ppm	100 ppm	設定されていない

設備対策 : 屋内作業場は、排気装置を設置する。

保護具 取り扱い場所の近辺に、洗眼・身体洗浄のための設備を設ける。  
: 必要に応じて保護眼鏡、耐油性保護手袋、保護衣、呼吸用保護具等を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

	原液	噴射剤 (LPG)		
		プロパン	n-ブタン	イソブタン
状態	粘性のある黄色透明液体	ガス状 (大気圧)、液状 (容器内)		
外観	黄色透明	無色透明	無色透明	無色透明
臭い	特異臭	無臭	無臭	無臭
融点	データなし	-190℃	-138℃	-159℃
沸点	データなし	-42℃	-0.5℃	-11.7℃
引火点	196℃ (C.O.C.)	-104℃	-60℃	<-56℃
発火点	データなし	450℃	365℃	460℃
爆発範囲	1.0~7.0% (推定)	2.1~9.5%	1.8~8.4%	1.8~8.4%
蒸気圧	データなし	1.275MPa (40℃)	0.278MPa (40℃)	0.427MPa (40℃)
蒸気密度	データなし	1.6 (空気=1)	2.1 (空気=1)	2.1 (空気=1)
密度	0.94 g/cm <sup>3</sup>	0.5 (水=1)	0.6 (水=1)	0.6 (水=1)
溶解性 (水)	不溶	0.007g/100mL	0.006g/100mL	不溶
オクタノール/水分分配係数	データなし	logPow=2.36	logPow=2.89	logPow=2.80

10. 安定性及び反応性

可燃性 : あり  
 発火性 : なし  
 酸化性 : なし  
 自己反応性・爆発性 : なし  
 安定性 : 安定  
 反応性 : 強酸化剤との接触を避ける。

11. 有害性情報

製品としてのデータはない。成分ごとのデータおよび GHS 区分より判定した。  
 記載無きものは GHS 分類でカットオフ値以下のものか、知見なし、あるいはデータなし。  
 急性毒性 : 現在のところ有用なデータなし  
 皮膚腐食性/刺激性 : 現在のところ有用なデータなし  
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 現在のところ有用なデータなし  
 呼吸器感作性 : 現在のところ有用なデータなし  
 皮膚感作性 : 現在のところ有用なデータなし  
 生殖細胞変異原性 : 現在のところ有用なデータなし  
 発がん性 : 現在のところ有用なデータなし  
 生殖毒性 : 現在のところ有用なデータなし  
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 成分および処方より区分 3 (麻酔作用) と判断した。  
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 現在のところ有用なデータなし  
 誤えん有害性 : 成分および組成より区分に該当しない。

12. 環境影響情報

製品としてのデータはない。成分ごとのデータおよび GHS 区分より判定した。  
 記載無きものは GHS 分類でカットオフ値以下のものか、知見なし、あるいはデータなし。  
 生態毒性  
     水生環境有害性 短期 (急性) : 成分および組成より区分 3 と判断した。  
     水生環境有害性 長期 (慢性) : 成分および組成より区分 3 と判断した。  
 残留性・分解性 : 現在のところ有用なデータなし  
 生体蓄積性 : 現在のところ有用なデータなし  
 土壌中の移動性 : 現在のところ有用なデータなし  
 オゾン層への有害性 : オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書リストに掲載なし。  
 その他 : 現在のところ有用なデータなし

13. 廃棄上の注意

1. 事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。  
 2. 投棄禁止  
 3. 埋立処分を行う場合には、あらかじめ焼却し、その燃えがらについて下記の物質が総務省で定めた基準以下であることを確認しなければならない。

銅又はその化合物、亜鉛又はその化合物、ふっ化物、アルキル水銀化合物、水銀又はその化合物、ヒ素又はその化合物、六価クロム化合物、有機りん化合物、鉛又はその化合物、カドミウム又はその化合物、シアン化合物、PCB。

4. 焼却する場合は、安全な場所で、かつ、燃焼又は爆発によって他に危害または損害を及ぼすおそれのない方法で行うとともに、見張人をつけること。

5. 廃棄時における関係法規
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
  - ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令
  - ・ 危険物の規制に関する政令
  - ・ 金属等を含む産業廃棄物に関する判定基準を定める環境省令

14. 輸送上の注意	注意事項	: 取り扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと 容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷の内容に積み込み、荷崩れ防止を確実にこなうこと。
	国連規制	: 国連番号…UN1950 容器分類…— 海上輸送に関しては IMO、航空輸送に関しては ICAO/IATA の規定に従う。 指針番号…126
	国内規制	: 陸上輸送…消防法、安衛法などに定められている運送方法に従う 海上輸送…船舶安全法に定められている運送方法に従う 航空輸送…航空法に定められている運送方法に従う

15. 適用法令	労働安全衛生法	: 危険物(令別表第1)に該当する(可燃性のガス) 法57条 政令18条 第1号 別表9に該当する成分を含有する。 ・ 表示対象濃度以上…鉱油、ブタン ・ 通知対象濃度以上…メタクリル酸メチル 有機溶剤中毒予防規則(施行令別表6の2)に該当しない
	化管法(PRTR法)	: 非該当(メタクリル酸メチルを含有するが、PRTR法対象濃度に満たない)
	毒物及び劇物取締法	: 対象外
	高压ガス保安法	: 適用除外(エアゾール)
	消防法	: 危険物 第4類第3石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ
	船舶安全法	: 高压ガス(危険物船舶輸送および貯蔵規則)
	航空法	: 高压ガス(航空法施行規則第194条)
	水質汚濁防止法	: 油分排出規制(5mg/L 許容濃度) ノルマルヘキサン抽出分として検出される。
	海洋汚染防止法	: ばら積み貨物でないので製品としては非該当 油分排出規制(原則禁止)
	下水道法	: 鉱油類排出規制(5mg/L)
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 産業廃棄物規制(拡散、流出の禁止)

16. その他の情報	RoHS 指令有害物質	: いずれも意図的な含有なし。
	ELV 指令有害物質	: いずれも意図的な含有なし。
	引用文献	: ①原料メーカーSDS・MSDS ②製品評価技術基盤機構ホームページ ③法律に関するホームページ

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として提供されるものです。取扱者はこれを参考とし、自らの責任において個々の取扱いの実態に合わせた処置を講ずることが必要であり、これを理解した上で活用して下さい。従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。